

指定管理者からの令和3年度事業報告概要

施設名	岡山県自然保護センター
------------	-------------

【指定管理者の概要】

名称	公益財団法人岡山県環境保全事業団	代表者	理事長 坂井俊英
所在地	岡山県岡山市南区内尾665番地1		

【指定管理の概要】

指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの利用等の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・自然の保護に関する知識の普及及び意識の啓発に関する事 ・指導者及びボランティア育成に関する事 ・自然に関する情報の収集及び提供に関する事 ・自然に関する調査及び研究に関する事 ・タンチョウの飼育に関する事 ・傷病鳥獣の保護に関する事 ・自主企画事業の実施に関する事 ・センターの運営に関する事 		

【管理体制の状況】

所長 (常勤1名)	<ul style="list-style-type: none"> — 管理担当 (常勤2名) — 植物担当 (常勤1名) + (非常勤1名) : 兼務 — 動物担当 (常勤1名) + (非常勤3名) : 兼務 — 事務担当 (常勤1名)
<外部委託> タンチョウ飼育、傷病鳥獣保護、フィールド維持管理、清掃、警備、浄化槽維持管理、消防・防火設備保安点検、自家用電気工作物管理	
管理運営委員会 (会長1名、副会長1名、委員7名)	

【利用等の許可の状況】

(単位: 件)

		研修室	図書室	収蔵室	実習室	合計
許可件数	3年度	35	2	0	2	39
	2年度	42	2	1	1	46
	増減	△7	0	△1	1	△7

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設等の維持管理業務	・施設等維持管理 ・フィールド維持管理 ・清掃 ・ごみ処理 ・警備 ・消防、防火設備保安点検 等
施設等利用許可業務	研修室 (35件)、図書室 (2件)、収蔵室 (0件)、実習室 (2件)
自主企画事業	計4企画開催 (内容) ・写真コンテスト ・インターン受け入れ ・職場体験受け入れ ・私の観察ノート(利用者の観察記録)

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位: 円、件)

				合計
収入額				
利用件数				
減免額				
減免理由				

指定管理者からの令和3年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		3年度	対前年度増減額	2年度	備考
収入額 A		115,975,000	1,980,000	113,995,000	3年度収入額 その他の主なもの ・30周年記念事業 委託 1,980,000円
内 訳	指定管理料	113,995,000	0	113,995,000	
	利用料金収入	0	0	0	
	事業収入	0	0	0	
	その他	1,980,000	1,980,000	0	
支出額 B		115,975,000	1,980,000	113,995,000	
内 訳	人件費	42,814,323	△523,472	43,337,795	
	管理運営費	73,160,677	2,503,472	70,657,205	
	事業費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
収支額 A-B		0	0	0	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		113,995,000	0	113,995,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運営 状況	①適切な施設 管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守 状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	新型コロナウイルス感染症対策の徹底に加え、安全パトロール、傷害保険の加入、熱中症やダニ等の危険生物への注意喚起など、センター利用者の安全性を確保した管理が履行されていた。
	④財産の適切な 管理	B	施設・設備の破損、紛失はなく、維持修繕を含め、適切な管理が履行されていた。
導入 効果	①利用状況	A	SNSでの情報発信、利用者ニーズ・ターゲットを意識したPRや行事を積極的に実施したことにより、新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、5年連続で入場者数3万人を達成した。 【利用者数】 R3：35,305人 ← R2：33,646人
	②収支状況	B	経費削減の取組を進め、概ね適正に執行されていた。
	③サービス向上	A	開所30周年記念事業や、様々な企画展示、観察会を実施し、良好な状態で観察できるフィールドの整備、密を避けて利用できるよう工夫した施設の案内、観察マップの配布を行った。
管理運営業務全般		B	協定書、事業計画書等に基づき、適切に管理運営業務が実施された結果、利用者は増加傾向にある。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。